

「市川森一脚本賞財団」平成24年度事業実施報告

- ・24年初夏、設立発起人の高橋康夫、渡辺紘史、市川美保子らにより、財団設立に向けての諸準備が本格的に始動する。
- ・9月21日（金）、準備事務局を六本木に構える。33名の設立賛同人を得て、25日（火）より、発起人らの知人友人関係団体あてに、設立趣意書を発送し財団設立の基本財産出資金を募る。
- ・10月、設立時の財団役員が確定し、一般財団法人「市川森一脚本賞財団」の定款を作成、それを以て登記申請し、25日（木）財団は正式に設立された。
- ・11月1日（木）、六本木の準備事務局から、世田谷区北沢4丁目に財団事務局を移転し、事務局機能を整備する。11月中旬、財団のEメールアドレスとホームページアドレスが確定し、27日（火）にはHPがオープンする。
- ・12月12日（水）13時より、第1回理事会を開き、理事長福地茂雄の挨拶の後、財団設立の概要、経過説明があり、24年度の事業計画案と収支予算案が承認される。
- ・2月4日（月）、脚本賞の選考委員長に指名された菅野より、リストアップされた脚本賞の候補者10名が理事の高橋、渡辺、市川らで合議の上、候補者6名に絞られる。
- ・2月13日（水）、選考委員4名が決まる。倉内均（アマゾンテルナ）、内山聖子（テレビ朝日）、次屋尚（日本テレビ）、森安彩（共同テレビ）。
- ・2月19日、20日、選考委員に、脚本賞の趣旨と選考方法のすりあわせをする。
- ・3月17日（日）15時より、市川森一脚本賞の選考会を開き、慎重審議の結果、第1回の受賞候補者が大島里美に内定。
- ・3月21日（木）15時より、臨時理事会を開き、25年度の収支予算案と事業計画案の説明および、第1回脚本賞の審査経過報告が承認され、大島里美が受賞者と決まる。なお、受賞対象作品はNHK名古屋局制作の「恋するハエ女」（29分枠・連続6回）である。さらに受賞式とパーティーおよび長崎祝賀会の概要が報告される。引きつづき16時より、臨時評議会を開かれ、理事会報告の後に、評議員の林敏幸より、長崎祝賀会の準備状況が報告される。

<平成25年度>

- ・4月9日（火）14時、NHK放送センター内の記者クラブで、第1回受賞者の発表と大島里美の会見が行われる。
- ・4月22日（月）17時半、千代田放送会館で受賞式が開かれる。受賞対象作品に出演した笈利夫、制作の土屋勝裕、演出の福井充広、東山允裕が出席。大島里美を囲んで制作秘話が語られる。引きつづき祝賀パーティーが開かれ、参加者は200名。
- ・4月24日（木）長崎県立博物館で、市川森一脚本賞長崎祝賀会実行委員会による、受賞作品の報告会と祝賀パーティーが開かれる。報告会では、大島里美、「恋するハエ女」出演のミムラ、制作演出のNHK名古屋局のスタッフとでミニシンポジウムが開催される。参加者は180名。